

高等学校外国語科（英語）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

【注意】問題によっては、部分点を与える。

問題番号			正 答 〔例〕	採点上の注意	配点		
1	No.1		A ② C D		各 6 × 5	3 0	
	No.2		① B C D				
	No.3		A B ③ D				
	No.4		A B ③ D				
	No.5		A B C ④				
2	【1】	No.1	① B C D		各 8 × 4	3 2	
		No.2	A ② C D				
	【2】	No.1	A B C ④				
		No.2	A B ③ D				
3	1		エ		1 0	3 8	
	2		エ		8		
	3	(1)	They were huge boulders strewn in random locations and rock beds scraped down to thin layers.	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 1 0 × 2		
		(2)	That's because cool summers prevent snow from melting, allowing snow and ice to build up over time.				
4	1	①	イ		各 5 × 2	4 0	
		②	ウ				
	2		they have learned	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	1 0		
	3		【 C 】		1 0		
	4		エ		1 0		

高等学校外国語科（英語）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採点上の注意		配点	
5		I think teachers should help students develop critical thinking skills by having them evaluate the reliability of online information. This is important because people often accept information without carefully examining its source or evidence. The passage says that algorithms in search engines influence which information appears first and may reproduce and reinforce real-world biases. Therefore, teachers should encourage students to compare multiple sources and examine the evidence that supports online information. By doing so, students can make reasoned judgements about online information instead of simply accepting the first result they find.		問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。		24	
6	1	ウ				各 8 × 2	16
	2	言語活動					
7	時間	学習活動		内容を正しく捉えていれば、表現は異なっていてよい。		20	
	1	○単元の目標を理解し、課題に対する理解を深める。 ○発表する際に活用できる表現などを学ぶ。 ・A L Tのモデルスピーチを聞いて、発表する際に活用できる語彙や表現などを学ぶ。 ・グループでブレインストーミングを行い、自身の学校の魅力について構想を膨らませる。 ・学校の魅力について、ペアで話して伝え合う。 ・表現するのが難しい言い回しをクラスで出し合い、有用な語句や表現を考えたり、教師に質問したりする。					
	2	○自分の意見に説得力をもたせるための理由や根拠を考え、発表のアウトラインを作成する。 ・学校の魅力について、自分の考え、気持ちなどを理由や根拠を含めて話すことができるように、生成A Iを相手にやり取りする。 ・生成A Iとのやり取りを踏まえ、発表のアウトラインを作成する。 ・アウトラインに沿って、ペアで発表し合う。その後、互いの発表を振り返り、内容や発表の仕方に関するよい点を伝えたり、分かりにくい点について助言をしたりする。 ・ペアからの助言等を踏まえて内容を見直す。					
	3	○論理の構成や展開を工夫するなどして発表を改善する。 ・モデルとなるスピーチを視聴し、聞き手に分かりやすい論理の構成や展開について確認する。 ・確認したことを踏まえ、伝える内容の順番や構成を見直し、発表用のメモを作成する。 ・ペアで発表し合い、互いの発表について、聞き手に分かりやすい論理の構成や展開になっているかという点から、助言をし合う。 ・多くの生徒に共通して見られた誤りや、参考となる論理の構成や展開に関する工夫などをクラス全体で共有する。 ・必要に応じて内容の構成や展開を練り直す。					
	4	○海外の姉妹校の生徒を意識して、自分たちの学校の魅力について自分の考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝える。 ・前時までに作成したアウトラインや発表用のメモを基に、ペアで発表し合う。その際、海外の姉妹校の生徒に分かりやすい発表になっているかという点から助言をし合う。 ・助言を踏まえ、学校の魅力や自分の考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫してグループ内で発表する。また、その様子をI C T機器を用いて録画する。 ・自身の発表を視聴するなどして、目標の達成状況を振り返り、課題を明確にする。					